③事業（参考）

・学生時代から様々な職業があることを認識する機会を確保する観点から、鹿児島県内で活躍する職業人の講演を通し、それぞれの職業の内容等につき学びを得ることで、将来県内においてどのような職業に従事することができるのかを学ぶ機会を確保します。鹿児島県が行っている「キャッチワークかごしま」等でもセミナー等開催されておりますが、さらに能動的に発信する仕組みを作ります。

・臨空団地や鹿児島市外の土地活用を図り、1 次産業から 3 次産業に至るまで、今までにない産業を優先して誘致する取り組みのほか、世界に誇る本県の企業を積極的に紹介する仕組みを設け、若年層に鹿児島の企業を知る機会(学びの機会)を確保します。

臨空地域や国分・下井海岸等に大型商業施設を誘致することで若年層の定着と地域の活性化を促します

（各企業 HP より）

・鹿児島は自然に溢れた観光都市としての魅力を併せ持つことから、人材流出防止のみでなく、人材流入都市となることも可能です。具体的には、自然あふれる離島をはじめ、Ｉターン人口の増加を見込んだ「鹿児島の魅力発信大作戦」を展開し、都市部への情報発信を展開します。(観光 PR 対策事業ともリンクします)

・団塊世代が後期高齢者となり、介護を必要とする現代では、「介護離職」が大きな社会問題です。一方、介護を担う介護事業所では、人材不足が叫ばれ、人材確保に躍起になる事業所も少なくありません。また、県外で就職、結婚し、県外で就労する 30 歳代以上の県出身者は、県内で生活する親の介護の問題は、社会全体で克服すべき段